

鳥居龍藏 とりいりりゆうざう 人類學・考古學著、文學博士。明治二年四月四日阿波國徳島生れ、昭和二十八年一月十四日歿（八七〇一八九三）。小學校中退後獨學。坪井正五郎の知遇を得、明治二十六年帝國大學理科大學入類學教室標本整理掛となる。大正十年東京帝大助教、のち退官して鳥居人類學研究所を設け、また上智大學・國學院大學教授を兼任後、昭和十四年北京の燕京大學客員教授に任じた。この間國內各地の他、滿洲、蒙古、支那、朝鮮、臺灣、樺太、シベリア等々考古學・人類學的調査研究を行ふ。『鳥居龍藏全集』全十巻（昭和五十五年一五十二年刊）がある。

著書に『蒙古旅行』（明治四十四年八月十五日博文館）、『蒙古及滿洲』（大正四年七月二十七日富山房「時學叢書」）、『日本趣味十種』（他九名合著・芳賀矢一編、大正十二年十一月一日文教書院「國學院大學叢書」）、『武蔵野及其有史以前』（大正十四年二月二十五日磯部甲陽堂）、『人類學上に見られる西南支那』（巽軒會編、大正十五年八月二十八日富山房「異軒叢書」）、『滿蒙其他の思ひ出』（昭和十一年八月二十日國會書房）、『遼の文化を探る』（昭和十一年一月七日章華社）、『里龍江と托樺太』（昭和十八年六月十八日生活文化研究會）等。

